

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・先代から受け継いだ社はの「感謝」をモットーに日々地域社会に貢献する企業として目標に向かい取り組んでいる。 ・社員一人ひとりが経営理念を理解し、会社の成長・発展・社員の幸福そして顧客の信頼と満足を目指し、より高度な技術サービスを提供している。 ・節税せずに税金を納めることで地域に還元し地域貢献している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守についても就業規則に定め、全社員に向け会議等で周知徹底している。 ・また社員一人ひとりがインターネット等を通じて常に法律改正等の新しい情報を確認している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・仕入先についてはコンクリート診断士会の講習に参加し、理事会で選定している。 ・社長自ら3社見積を実施し、比較して適正な価格で取引を実施している。													10				16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・事業活動においてバリューチェーン分析を行い社会・環境に及ぼす正と負の影響を社長自ら把握し社員へ周知している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特殊な工法で施工する際は秘密情報の漏洩しない旨の契約を交わしている。								8.2 8.3	9									16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・入社時に守秘義務の誓約書を受け入れている。 ・顧客情報、社員の個人情報については適切に管理し情報漏洩しないよう徹底している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事に入る際は近隣に挨拶し、マスクや消毒液、横断旗等の寄付を行い、理解と協力をお願いしている。 ・顧客の声を大事にし定期的に役所や取引業者と打合せを実施している。 ・苦情についても社長自ら顧客の声を聞き、改善に繋げている。 ・ステークホルダーと仕事以外でもコミュニケーションを図っている。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・賄賂防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・新技術の講習会を通じて環境問題について他社と共有し、環境に配慮した技術や製品を使用することで地球環境に悪影響がないよう取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを策定し、訓練や見直しを行っている。 ・経済産業省の「事業継続力強化計画」の認定を取得している。									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・担当の税理士を含め事業承継に関する対策を行っている。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・女性も働きやすい職場を目指し、女性役員の登用や雇用機会均等を実施している。 ・就業規則にセクハラやパワハラの禁止についても定めている。 ・セクハラやパワハラがないように毎日のコミュニケーションを大事にしている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・交通法令の遵守を徹底している。 ・安全講習会に参加している。 ・毎朝現場でKY活動を実施している。 ・メンタルヘルスケアについては毎日のコミュニケーションを大事にし、一人ひとりの表情を常に意識している。		3							8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金に沿った雇用形態に関わらないすべての社員へ公正な待遇を実施している。 ・就業規則に基づき、全社員に不平等なことがないように適切に対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・完全週休2日制を導入し、時間管理の徹底による時間外労働の削減等、働き方改革への取り組みを実施している。 ・プライベート企業の認定を受け、有給休暇の積極的取得や働きやすい制度構築を行うことでワークライフバランスを推進している。 ・熊本県のプライベート企業の認定を取得しており、社員の声を大切にし、家庭と仕事の両立を図りやすいよう都度制度改定を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社内セミナーや外部講師による管理職育成のためのセミナー受講により職長会議等を実施し、人材育成に力を入れている。 ・資格取得について受験料等の必要経費を支給し、社員一人ひとりが積極的に取り組んでいる。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・人間ドックの経費の全額補助を行っている。 ・ヘルスター認定や健康経営優良法人の認定を受け全社員の体と心の健康を維持できるよう取り組んでいる。 ・コロナ対策のためアルコール消毒、検温、空気清浄機を設置している。 ・熱中症対策として塩飴や絶対保水液を常備し、現場の快適化のためエアコンを設置している。 ・経済産業省の「健康経営優良法人」の認定を取得している。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・女性役員も登用しており、女性も働きやすい職場環境である。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・消毒、検温、空気清浄機等の感染症対策は引き続き実施し、WEB会議やテレワークについては単なる感染症対策としてではなく、従業員の働き方等に応じて労働環境の改善に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・最新の測量機器の導入、工事原価管理ソフトや複合機のスキャンを活用したペーパーレスやデジタル化の推進に取り組んでいる。								8	9.1		11	12						
	21	【プライベート企業】 ・プライベート企業に認定されている。	●		・プライベート企業に認定されている。				3	4				8	9		12						

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ダンテック

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・汚濁水フェンスや粉塵防災ネットを設置し環境汚染予防に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・「炭削くん」を用いてエネルギー使用量を算出し削減に取り組んでいる。 ・営業車についてはハイブリット車を使用している。 ・事務所照明のLED化、消し忘れ防止のための人感センサー設置、エアコン温度の設定(夏期28℃)により、社員全員で節電に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「炭削くん」を用いてCO ₂ 排出量を算出し削減に取り組んでいる。 ・営業車両についてはハイブリット車を導入し、CO ₂ 排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・年5回のボランティア活動を通じて緑地や水辺の清掃を行い生物の生息や生育地の創出に取り組んでいる。 ・稚魚の放流時期を避けて工事を実施している。 ・環境に配慮した製品の提供を通じて、生物多様性保全に取り組んでいる。						6.6							14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・環境に配慮し再生用紙を利用している。 ・裏紙の利用やファイルの再利用を促進している。 ・シュレッターごみについては暖衛材として再利用を徹底している。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・海洋工事中の現場においては汚濁水防止フェンスを設置し環境保全に取り組んでいる。 ・河川清掃ボランティア活動を実施している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。 ・海洋汚濁防止膜やオイルフェンス、防風柵、落石防止柵等の防災・環境関連の製品の販売を促進している。								9.4			12.4 12.5	13	14	15					
環境	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所周辺に花を植え、緑化や植栽に取り組んでいる。											11.6 11.7	13.1 13.3		15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・太陽光の電子掲示板を使用し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5	13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・事務所ではマイボトル利用の声かけを実施し、各自持参することでプラスチックごみの削減に貢献している。											12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・営業車両についてはハイブリット車を導入しCO ₂ 排出の抑制に取り組むことで環境に配慮している。 ・【予定】2026年5月までに電気自動車を導入し環境に配慮する。									9.4		11.2	13.1 13.3							
	36	【2050年CO ₂ 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・工事終了の際に発注者にメンテナンスチェック表を交付し、今後のメンテナンスの手順を説明している。 ・ISO9001を取得し、品質マネジメントについて社内で徹底している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・設計書に則りスロープや点字ブロックの設置をしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・原材料については熊本県産材を使用することで地産地消に取り組んでいる。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・橋梁補修工事の長寿命化工事、海洋構造物補修工事や交通安全施工工事により安心安全なインフラを構築している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県のくまもとマイリバーサポートや熊本市のロードクリーンボランティア、熊本市託麻商工会議所の地域ボランティアに積極的に参加している。 ・阿蘇市へ水資源と山の保全のための寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害に備えて現場に飲料水等を常備している。 ・各自ハザードマップについて確認している。 ・各現場に緊急行動計画表を作成し、緊急時の連絡網、病院等への連絡がすぐできるよう掲示している。 ・事務所においても緊急連絡網を作成している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・AEDを設置し、消防署の講習を全社員受講している。 ・熊本県と防災協定を締結している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・海洋汚濁防止膜やオイルフェンス、防風柵、落石防止柵等の防災・環境関連の製品の販売を促進している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社長含め社内でSDGs委員会を設置すると共に、SDGsに関する研修を実施し、社員へSDGsの意識を浸透させている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・インターンシップの受け入れ体制を整え、積極的に工業高校を中心に案内を行い、いつでも受け入れが可能な体制を構築している。				4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・積極的に地元の学生、特に工業高校を中心に学校へ訪問し、人材確保に努め雇用確保に繋げている。 ・SNSを活用し若者の就職を促進するよう情報発信を都度行っている。				4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。